職業実践専門課程等の基本情報について

平成4年2月17日	学校名		設置	置認可年月	日校	長名		所在地				
		ーティ専門	亚日	成4年2日1	, н на	元康唐 (住所)						
学校法人選供学部 一京の中央		字校 (電話) 088-875-7131										
学校の表現中学 東京神学名	設置者名											
安野 英田野野	学校法人龍馬	学園	平原	或1年3月2	8日 佐竹	竹新市 (住所)	高知県高知市北本町					
学科の目的	分野		認定課程名	ź	認定学科				丰度 職業実践専	門課程認定年度		
### 1								-				
学科の日報(19 1			H — 246 T.1 — 1		. 11/2-1		/ * > === == = = = = = = = = = = = = = =					
語言語語 動唱詞 (日本学校主学年代を完ますると、2年 日本 1987 年 1987	学科の目的											
語言語語 動唱詞 (日本学校主学年代を完ますると、2年 日本 1987 年 1987												
# 数集年期	教育内容、取得可											
全接接資子 生態実質 公司 一		昼夜	全課程の何			講義	演習	実習	実験	実技		
生徒報定員 生後素質(A) 音学教 (世界教 (世界教 (世界教 (世界教 (世界教 (世界教 (世界教 (世界	2	昼間		単位いずれ						0 単位時間		
### 22人 1人 1人 01 51	· ·	生 徒		留学生				単位	単位	単位		
東京東京 (C) 1				田 7 工								
### 200 表表 (日)				:								
■地元記載音数(10) 9 人 ■記載音を(10) 100 95 ■記載音を(10) 96 95 ■ 日本												
製工業 (2/10) 1(0) 56							_					
日本年末におから起味者の対合(を(で) 38 96		■就職率	(E/D)		100		_ _					
東京本日におかる映画の計合(E/C) 88 96		■沉職者	に占める地:	元泦職者の		%						
		■卒業者[こ占める就耳	職者の割合	(E/C)		_					
議会の他		■准学者	类 tr				_					
(今和 6 年度の芸者に贈する合わ7年5月1日時点の積倒) ■1な政策を、業界等 自動車デーラ、自動車技術者、建設機械者 第三者による 学校評価 第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ はない。 はない、	就職等の状況		~^		U		_					
(今和 6 年度の芸者に贈する合わ7年5月1日時点の積倒) ■1な政策を、業界等 自動車デーラ、自動車技術者、建設機械者 第三者による 学校評価 第三者による 学校評価 当該学科の ホームページ はない。 はない、		사수 시 1	人家業別	継ぎ 11								
■ 正なの親外、東昇等 日助を子ピーラ、日動を製版者、 性恐惧核素 ■ 政則の評価機関等から第三者評価:			ハみ未別	FEC IA								
		(令和	6	年度卒業者	に関する令和7年5月	1日時点の情報)						
第三者による 学校評価 ※和の場合、例えば以下について任意記憶 評価団化: 安幸年月: 評価結准を根拠した ホームページURL												
第三者による		自動車ディー	ーラ 、自動	車救援業 、	建設機械業							
第三者による												
新音の属性 (第任 教育の属性 (第任 教育の属性 (第任 教育について記 人) ** ** ** * ** ** * * * * *		■民間の	評価機関等	身から第三	者評価:		無					
当該学科の		次有の場合	、例えば以下	いについて任	忌 高C 単X							
### https://www.ryoma.ac.jp/rdb/automovtive/URL (A:単位時間による算定) (A:単位時間による算定) 総授業時数 「うち企業等と連携した実験・実置・実技の授業時数 「うち企業等と連携した実験・実置・実技の授業時数 「うち企業等と連携した多様の演習の授業時数 「うち企業等と連携した必様の演習の授業時数 「うち企業等と連携した必様の演習の授業時数 「うち企業等と連携した必様の演習の授業時数 「の単位時間 「うち企業等と連携した必様の演習の授業時数 「の単位時間 「うち企業等と連携した必様の演習の授業時数 「の単位時間 「うち企業等と連携した必要・実置・実技の単位数 「の単位 「うち企業等と連携した実験・実置・実技の単位数 「の単位 「うち企業等と連携した実際の単位数 「の単位 「うち企業等と連携した必様の実験・実置・実技の単位数 「の単位 「うち企業等と連携した必様の実験・実置・実技の単位数 「の単位 「うち企業等と連携した必様の実験・実置・実技の単位数 「の単位 「うち企業等と連携した必様の演習の単位数 「の単位 「うち企業等と連携した必様の実験・実置・実技の単位数 「の単位 「うち企業等と連携した必様の実験・実置・実技の単位数 「の単位 「うち企業等と連携した必様の実験・実置・実技の単位数 「の単位 「うち企業等と連携した必ずの演習の単位数 「の単位 「うち企業等と連携した必ずの演習の単位数 「の単位 「うち企業等と連携したが、「できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	子校評価		評価団体:			受審年月:						
### https://www.ryoma.ac.jp/rdb/automovtive/URL (A:単位時間による算定) (A:単位時間による算定) 総授業時数 「うち企業等と連携した実験・実置・実技の授業時数 「うち企業等と連携した実験・実置・実技の授業時数 「うち企業等と連携した多様の演習の授業時数 「うち企業等と連携した必様の演習の授業時数 「うち企業等と連携した必様の演習の授業時数 「うち企業等と連携した必様の演習の授業時数 「の単位時間 「うち企業等と連携した必様の演習の授業時数 「の単位時間 「うち企業等と連携した必様の演習の授業時数 「の単位時間 「うち企業等と連携した必要・実置・実技の単位数 「の単位 「うち企業等と連携した実験・実置・実技の単位数 「の単位 「うち企業等と連携した実際の単位数 「の単位 「うち企業等と連携した必様の実験・実置・実技の単位数 「の単位 「うち企業等と連携した必様の実験・実置・実技の単位数 「の単位 「うち企業等と連携した必様の実験・実置・実技の単位数 「の単位 「うち企業等と連携した必様の演習の単位数 「の単位 「うち企業等と連携した必様の実験・実置・実技の単位数 「の単位 「うち企業等と連携した必様の実験・実置・実技の単位数 「の単位 「うち企業等と連携した必様の実験・実置・実技の単位数 「の単位 「うち企業等と連携した必ずの演習の単位数 「の単位 「うち企業等と連携した必ずの演習の単位数 「の単位 「うち企業等と連携したが、「できまままままままままままままままままままままままままままままままままままま	当該学科の											
(A:単位時間による算定) 総授業時数 2,185単位時間 うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 の単位時間 うち企業等と連携した液習の授業時数 の単位時間 うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 の単位時間 うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 の単位時間 (うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 の単位時間 (うち企業等と連携した変験・実習・実技の授業時数 の単位時間 (うち企業等と連携した変験・実習・実技の授業時数 の単位 うち企業等と連携した実験・実習・実技の単位数 うち企業等と連携した演習の単位数 うち企業等と連携した演習の単位数 うち企業等と連携した変験・実習・実技の単位数 うち企業等と連携した変勢・実習・実技の単位数 の単位 うち企業等と連携した必修の演習の単位数 の単位 うち企業等と連携した必修の演習の単位数 の単位 (うち企業等と連携した必修の演習の単位数 の単位 (うち企業等と連携したがとの表別・実習・実技の単位表別・の単位 (まを学校設置基準第41条第1項第1号) (本修学校設置基準第41条第1項第2号) の人 (本修学校設置基準第41条第1項第3号) の人	ホームページ	https://w	ww.ryoma.a	ac.jp/rdb/a	utomovtive/							
記授業時数 2.185 単位時間 3 5 企業等と連携した実験・実置・実技の授業時数 3 単位時間 3 5 企業等と連携した漢書の授業時数 3 単位時間 5 5 企業等と連携した必修の実験・実置・実技の授業時数 3 単位時間 5 5 企業等と連携した必修の実験・実置・実技の授業時数 0 単位時間 5 5 企業等と連携した必修の実験・実置・実技の授業時数 0 単位時間 5 5 企業等と連携した必修の演習の授業時数 0 単位時間 1 5 6 企業等と連携した必修の演習の授業時数 0 単位前面 2 5 6 企業等と連携した必修の演習の授業時数 0 単位前面 2 5 6 企業等と連携した必修の演習の授業時数 0 単位 5 5 6 企業等と連携した実験・実置・実技の単位数 0 単位 5 5 6 企業等と連携した実験・実置・実技の単位数 0 単位 5 5 6 企業等と連携した必修の実験・実置・実技の単位数 0 単位 5 6 企業等と連携した必修の実験・実置・実技の単位数 0 単位 5 6 企業等と連携した必修の演習の単位数 0 単位 5 6 企業等と連携した必修の演習の単位数 0 単位 5 6 企業等と連携した必修の演習の単位数 0 単位 5 6 企業等と連携した必修の方言の単位数 0 単位 5 6 企業等と連携した必修の方言の単位数 0 単位 5 6 企業等と連携した必修の方言の手位数 0 単位 0 人	URL											
うち企業等と連携した実験・実習・実技の授業時数 8 単位時間 うち企業等と連携した演習の授業時数 0 単位時間 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 0 単位時間 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 0 単位時間 うち企業等と連携した必修の演習の授業時数 0 単位時間 0 単位 0 0 0 単位 0 0 0 単位 0 0 0 0 0 単位 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0 0		(A:単位										
うち企業等と連携した演習の授業時数			総授業時数	Į.					2, 185 単位時間			
うち必修授業時数 3 単位時間 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の授業時数 3 単位時間 うち企業等と連携した必修の実施が設置 0 単位時間 うち企業等と連携したの必要の授業時数 0 単位時間 (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) 0 単位時間 (うち企業等と連携したインターンシップの授業時数) 0 単位 つ 単位 うち企業等と連携した実習の単位数 0 単位 うち企業等と連携した実體の単位数 0 単位 うち企業等と連携した設備の演習の単位数 0 単位 うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数 0 単位 うち企業等と連携した必修の演習の単位数 0 単位 うち企業等と連携した必修の演習の単位数 0 単位 ○ 5 企業等と連携した必修の演習の単位数 ○ 0 単位 ○ 5 企業等と連携した必修の演習の単位数 ○ 0 単位 ○ 5 企業等と連携した必修の演習の単位数 ○ 0 単位 ○ 5 企業等と連携した必能の演習の単位数 ○ 0 単位 ○ 5 企業等と連携した必修の演習を単常を設置基準第41条第1項第1号 0 人 ○ 5 での他 ○ 6 を学校設置基準第41条第1項第5号 0 人 ○ 5 での他 ○ 6 を学校設置基準第41条第1項第5号 3 人 1 に対し ○ 6 のうち、実務家教員 (分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の 2 上記①~6のうち、実務家教員 (分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の 2 上記②~6のうち、実務家教員 (分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の 2 上記②~6のうち、実務家教員 (分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の 2 上記②~6のうち、実務家教員 (分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の 2 上記②~6のうち、実務教養を有し、かつ、高度の 2 上記②~6のうち、実務教養を有し、かつ、高度の 2 上記②~6のうち、実務教養を有し、かつ、高度の対し 2 上記② 2 上記》 2 上記② 2 上記② 2 上記》 2 上記② 2 上記》 2				うち企業等	と連携した実験・実習	・実技の授業時数			8 単位時間			
うち企業等と連携したと称の実験・実習・実技の授業時数				うち企業等	と連携した演習の授業	作時数			0 単位時間			
② 学生の学院状態				うち必修授	業時数				8 単位時間			
企業等と連携した 実習の実施状況 (A、Bいずれかに記入) (B:単位数による算定) (B:単位数では、表質定) (B:単位数では、表質定) (B:単位数では、表質定) (B:単位数では、表質定) (B:単位数では、表質をと連携した実験・実置・実技の単位数 0単位 うち企業等と連携した演習の単位数 0単位 うち企業等と連携した必修の演習の単位数 0単位 うち企業等と連携した必修の演習の単位数 0単位 (うち企業等と連携した必修の演習の単位数 0単位 (うち企業等と連携した必修の演習の単位数 0単位 (うち企業等と連携した必修の演習の単位数 0単位 (うち企業等と連携したがの演習の単位数 0単位 (うち企業等と連携したが、一般の演習の単位数 0単位 (うち企業等と連携したが、一般の演響の単位数 0単位 (うち企業等と連携したが、一般の演奏を決し重したが、一般を学校設置基準第41条第1項第1号) 0人 (事修学校設置基準第41条第1項第3号) 0人 (事修学校設置基準第41条第1項第4号) 0人 (事修学校設置基準第41条第1項第5号) 3人 計 上記①~⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の					うち企業等と連携した	:必修の実験・実習・実	技の授業時数		8 単位時間			
(A、Bいずれか に記入) (B:単位数					うち企業等と連携した	:必修の演習の授業時数	Į.					
実習等の実施状況	企業等と連携した			(うち企業	Arte I set Ide I I I I I				0 単位時間			
(日:単立数による昇走) 記単位数	実習等の実施状況]			等と連携したインター	-ンシップの授業時数)						
 総単位数		I (D.) ##			等と連携したインター	-ンシップの授業時数)						
うち企業等と連携した演習の単位数		(日、年四	変による 算	[定]	等と連携したインター	- ンシップの授業時数)						
うち必修単位数		(日、単位		算定)	等と連携したインター	-ンシップの授業時数)			0 単位時間			
うち企業等と連携した必修の実験・実習・実技の単位数		(6.年四	総単位数						0 単位時間			
うち企業等と連携した必修の演習の単位数		(日、平四	総単位数	うち企業等	と連携した実験・実習	習・実技の単位数			0 単位時間 0 単位 0 単位			
(うち企業等と連携したインターンシップの単位数) ① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等において その担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程を修業年限と当該業務に従事した相関とを通算して六年以上となる者 ② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 3 人 計 上記①~⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の		(D. F U	総単位数	うち企業等	と連携した実験・実習 と連携した演習の単位	習・実技の単位数			0 単位時間 0 単位 0 単位 0 単位			
① 専修学校の専門課程を修了した後、学校等において その担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程を修業年限と当該業務に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 ② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 0人 ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0人 ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) 0人 ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 3人 計 3人		(B. ¥U	総単位数	うち企業等	と連携した実験・実習 と連携した演習の単位 位数	習・実技の単位数 立数			0 単位時間 0 単位 0 単位 0 単位 0 単位			
その担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 ② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 3 人 計 上記①~⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の		(B. #U	総単位数	うち企業等	と連携した実験・実習 と連携した演習の単位 位数 うち企業等と連携した	習・実技の単位数 立数 必修の実験・実習・実			0 単位時間 0 単位 0 単位 0 単位 0 単位 0 単位			
をの担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 ② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 3 人 計 上記①~⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の		(6. #0	総単位数	うち企業等うち企業等	と連携した実験・実置 と連携した演習の単位 位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	習・実技の単位数 立数 必修の実験・実習・実 必修の演習の単位数			0 単位時間 0 単位 0 単位 0 単位 0 単位 0 単位 0 単位			
をの担当する教育等に従事した者であって、当該専門課程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六年以上となる者 ② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第4号) ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 3 人 計 上記①~⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の		(B. #U	総単位数	うち企業等うち企業等	と連携した実験・実置 と連携した演習の単位 位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	習・実技の単位数 立数 必修の実験・実習・実 必修の演習の単位数			0 単位時間 0 単位 0 単位 0 単位 0 単位 0 単位 0 単位			
程の修業年限と当該業務に従事した期間とを通算して六 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 0人 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 0人 (事修学校設置基準第41条第1項第3号) 0人 (事修学校設置基準第41条第1項第3号) 0人 (事修学校設置基準第41条第1項第3号) 0人 (事修学校設置基準第41条第1項第5号) 0人 (事修学校設置基準第41条第1項第5号) 3人 計 3人		(8. #10	総単位数	うち企業等うち企業等	と連携した実験・実置 と連携した演習の単位 位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した	習・実技の単位数 立数 必修の実験・実習・実 必修の演習の単位数			0 単位時間 0 単位 0 単位 0 単位 0 単位 0 単位 0 単位			
教員の属性 (専任教員について記入) ② 学士の学位を有する者等 (専修学校設置基準第41条第1項第2号) 0人 ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0人 ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 3人 計 3人 上記①~⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の 2人		(8. #19	総単位数 ① 専修学	うち企業等 うち企業等 うち必修単 (うち企業	と連携した実験・実習と連携した演習の単位位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携したインター	習・実技の単位数 立数 二必修の実験・実習・実 こ必修の演習の単位数 一ンシップの単位数)			0 単位時間 0 単位			
教員の属性 (専任教員について記入) ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0人 ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0人 ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 3人 計 3人		(6. 平山	総単位数 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	うち企業等 うち必修単 うち必修単 ((うち企業 だな教育等等等 下る教育等等を限と当該者	と連携した実験・実習と連携した演習の単位位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携したインター	留・実技の単位数 立数 □ 必修の実験・実習・実 □ 必修の演習の単位数 □ ンシップの単位数 □ ンシップの単位数 当該専門課 □ (事格	民技の単位数	第1号)	0 単位時間 0 単位			
教員の属性 (専任教員について記入) ③ 高等学校教諭等経験者 (専修学校設置基準第41条第1項第3号) 0人 ④ 修士の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0人 ⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 3人 計 3人		(6、单位	総単位数 ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・ ・	うち企業等 うち必修単 うち必修単 ((うち企業 だな教育等等等 下る教育等等を限と当該者	と連携した実験・実習と連携した演習の単位位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携したインター	留・実技の単位数 立数 □ 必修の実験・実習・実 □ 必修の演習の単位数 □ ンシップの単位数 □ ンシップの単位数 当該専門課 □ (事格	民技の単位数	第1号)	0 単位時間 0 単位			
教員について記		(b . #U	総単位数 ・ 専 ・ 専 ・ の ・ を ・ の ・ と ・ の ・ と ・ で ・ の ・ を ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で ・ で	うち企業等 うち企業等 うち企業等 (うち企業 (うち企業 学校の専門時にま する教育当該業 なる者	と連携した実験・実習と連携した演習の単位位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携したインター は程を修了した後、学科 従事した者であって、 務に従事した期間と言	習・実技の単位数 立数 と必修の実験・実習・実 と必修の演習の単位数 ーンシップの単位数) 交等において 当該専門課 を通算して六 (専修	E技の単位数 学校設置基準第41条第1項		0 単位時間 0 単位			
入) (④ 修工の学位又は専門職学位 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 0人 (⑤ その他 (専修学校設置基準第41条第1項第5号) 3人 計 3人 (上記①~⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の	#202# /= '	(b . #U	総単位数 ① 専修学す年 年収上とな ② 学士の	うち企業等 うち企業等 うち必修単 (うち企業 (うち企業 たる教育等にま なると当該ま なると当なると (うちであると) (うちであると)	と連携した実験・実習と連携した演習の単位位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した 等と連携したインター は程を修了した後、学科 従事した者であって 、 務に従事した期間と	習・実技の単位数 立数 - 必修の実験・実習・実 - 必修の演習の単位数 - ンシップの単位数) 交等において 当該専門課 を通算して六 (専修	で技の単位数 学校設置基準第41条第1項 学校設置基準第41条第1項	第2号)	0 単位時間 0 単位			
計 3人 上記①~⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の		(b . #U	歌単位数 ① 専修学す年 の を	うち企業等 うち必修単 (うち企業 (うち企業 (うち企業 ど校の専門談に る教司談案 の学位を有すが を持ち、	と連携した実験・実習と連携した演習の単位位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター は程を修了した後、学校 では事した者であって、 では事した期間とる でる者等	留・実技の単位数 立数 二必修の実験・実習・実 二必修の演習の単位数 一ンシップの単位数) 交等において 当該専門課 を通算して六 (専修	学校設置基準第41条第1項 学校設置基準第41条第1項	第2号)	0 単位時間 0 単位			
上記①~⑤のうち、実務家教員(分野におけるおおむね5年以上の実務の経験を有し、かつ、高度の	教員について記	(B · 单位	総単位数 ① 専生の (1) 中の (2) 学士 (2) 学士 (3) 高等士の (4) 学士 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)	うち企業等 うち必修単 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うちなと) (うちを) (うちなと) (うちなと) (うちなと) (うちなと) (うちなと)	と連携した実験・実習と連携した演習の単位位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター は程を修了した後、学校 では事した者であって、 では事した期間とる でる者等	留・実技の単位数 立数 二必修の実験・実習・実 二必修の演習の単位数 一ンシップの単位数) 交等において 当該専門課 を通算して六 (専修	学校設置基準第41条第1項 学校設置基準第41条第1項	第2号)	0 単位時間 0 単位			
	教員について記	(B · 单位	総単位数 ① 専生の (1) 中の (2) 学士 (2) 学士 (3) 高等士の (4) 学士 (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4) (4)	うち企業等 うち必修単 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うちなと) (うちを) (うちなと) (うちなと) (うちなと) (うちなと) (うちなと)	と連携した実験・実習と連携した演習の単位位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター は程を修了した後、学校 では事した者であって、 では事した期間とる でる者等	留・実技の単位数 立数 一必修の実験・実習・実 一必修の演習の単位数 一ンシップの単位数) 交等において 当該専門課 を通算して六 (専修 (専修	字校設置基準第41条第1項 字校設置基準第41条第1項 字校設置基準第41条第1項 字校設置基準第41条第1項	第2号) 第3号) 第4号)	0 単位時間 0 単位			
	教員について記	(B · 单位	 (1) 専担事性 (2) 専り担保 (3) 高等のの (4) をのの (5) そのの 	うち企業等 うち必修単 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うちなと) (うちを) (うちなと) (うちなと) (うちなと) (うちなと) (うちなと)	と連携した実験・実習と連携した演習の単位位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター は程を修了した後、学校 では事した者であって、 では事した期間とる でる者等	留・実技の単位数 立数 一必修の実験・実習・実 一必修の演習の単位数 一ンシップの単位数) 交等において 当該専門課 を通算して六 (専修 (専修	字校設置基準第41条第1項 字校設置基準第41条第1項 字校設置基準第41条第1項 字校設置基準第41条第1項	第2号) 第3号) 第4号)	0 単位時間 0 単位			
	教員について記	(B. #U	 (1) 専担事性 (2) 専り担保 (3) 高等のの (4) をのの (5) そのの 	うち企業等 うち必修単 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うち企業 (うちなと) (うちなと) (うちなと) (うちなと) (うちなと) (うちなと)	と連携した実験・実習と連携した演習の単位位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター は程を修了した後、学校 では事した者であって、 では事した期間とる でる者等	留・実技の単位数 立数 一必修の実験・実習・実 一必修の演習の単位数 一ンシップの単位数) 交等において 当該専門課 を通算して六 (専修 (専修	字校設置基準第41条第1項 字校設置基準第41条第1項 字校設置基準第41条第1項 字校設置基準第41条第1項	第2号) 第3号) 第4号)	0 単位時間 0 単位			
	教員について記	(B · 单b)	 (1) 専事修学す年 (2) 学等等 (3) 高等士の (4) を十の他 (5) その他 計 	うち企業等単 うち企業等単 (うち企業 (うち企業 (うち企業)学校の専門跨に第 を有る数と当 (うちを書きなり)学校教諭は専 (ものでは、1000年)の学校教諭は、1000年)の学校教諭は、1000年)の学校教諭は、1000年)のでは、1000年)の学校教諭は、1000年)のでは、1	と連携した実験・実習と連携した演習の単位位数うち企業等と連携したうち企業等と連携したのかりません。 を連携したインターは、学校では、学校では、学校ので	習・実技の単位数 立数 の必修の実験・実習・実 の必修の演習の単位数 つンシップの単位数 ンシップの単位数 (専修 (専修 (専修 (専修	学校設置基準第41条第1項 学校設置基準第41条第1項 学校設置基準第41条第1項 学校設置基準第41条第1項	第2号) 第3号) 第4号) 第5号)	0単位時間 0単位 0単位 0単位 0単位 0単位 0単位 0人 0人 0人 0人 3人 3人			
	教員について記	(B · 单位	 (1) 専担をとする。 (2) 等等の性 (3) をするのである。 (4) をののである。 (5) そのである。 (6) またのである。 	うち企業等等 うち必修単 (うち必を業等) (うち必を素等) (うちなとまる) 学校の教育等該数 学校教諭はまる。 (うちをなる) 学校教諭はまる。 (うちをまる) (うちをまる) (うちをまる) (うちをまる) (うちをまる) (うちをまる) (うちをまる) (うちをまる) (うちをまる) (うちをなる) (うちを) (うちを) (うちを) (うちを) (うちを) (うなる) (うな) (うな) (うな) (うな) (うな) (うな) (うな) (うな	と連携した実験・実習と連携した演習の単位位数 うち企業等と連携した うち企業等と連携したインター 特を連携したインター はな事した者であって、 表示で、一番等とを を を を を を を を を を を を を を を を を を を	習・実技の単位数 立数 の必修の実験・実習・実 の必修の演習の単位数 つンシップの単位数 ンシップの単位数 (専修 (専修 (専修 (専修	学校設置基準第41条第1項 学校設置基準第41条第1項 学校設置基準第41条第1項 学校設置基準第41条第1項	第2号) 第3号) 第4号) 第5号)	0単位時間 0単位 0単位 0単位 0単位 0単位 0単位 0人 0人 0人 0人 3人 3人			

- 1. 「専攻分野に関する企業、団体等(以下「企業等」という。)との連携体制を確保して、授業科目の開設その他の教育課 程の編成を行っていること。」関係
- (1)教育課程の編成(授業科目の開設や授業内容・方法の改善・工夫等を含む。)における企業等との連携に関する基本 方針

進化する自動車技術に対応出来る自動車整備士を養成することが1つの教育目的であり、自動車業界の専門性の動向、新たな技術動向に関する知識・技術について、関係者からの意見等を十分に反映して、より実践的な授業科目、授業の内容・方法の改善を図っていく方針である。

(2)教育課程編成委員会等の位置付け

※教育課程の編成に関する意思決定の過程を明記

別添「龍馬デザイン・ビューティ専門学校 教育課程編成委員会(以下「委員会」という。)の位置付に関する規程のとおり、校長直轄の組織として委員会を設置し、カリキュラム改善に対する意見を聴取、これを基に、校長以下、工業系の担当者でカリキュラムの改善策について検討し、次年度に向け改善を行っていくこととしている。

(3)教育課程編成委員会等の全委員の名簿

令和7年5月1日現在

名 前	所 属	任期	種別
國澤 裕貴	(一社)高知県自動車整備振興会理事	令和7年4月1日~令和9年3 月31日(2年)	1
森田 倫光	(有)旭自動車工業代表取締役	令和7年4月1日~令和9年3 月31日(2年)	3
中西 康廣	学校長	令和7年4月1日~令和9年3 月31日(2年)	_
大久保 光洋	副校長兼事務局長	令和7年4月1日~令和9年3 月31日(2年)	_
石元 優	教務部長	令和7年4月1日~令和9年3 月31日(2年)	_
筒井 孝則	教務部課長	令和7年4月1日~令和9年3 月31日(2年)	_

※委員の種別の欄には、企業等委員の場合には、委員の種別のうち以下の①~③のいずれに該当するか記載すること。

- (当該学校の教職員が学校側の委員として参画する場合、種別の欄は「一」を記載してください。)
 - ①業界全体の動向や地域の産業振興に関する知見を有する業界団体、職能団体、

地方公共団体等の役職員(1企業や関係施設の役職員は該当しません。)

- ②学会や学術機関等の有識者
- ③実務に関する知識、技術、技能について知見を有する企業や関係施設の役職員
- (4)教育課程編成委員会等の年間開催数及び開催時期

(年間の開催数及び開催時期)

年2回 (7月、2月)

(開催日時(実績))

第1回 令和6年7月29日 14:00~15:00 第2回 令和7年2月28日 14:00~15:00

(5)教育課程の編成への教育課程編成委員会等の意見の活用状況

※カリキュラムの改善案や今後の検討課題等を具体的に明記。

科の教員は委員以外も参加し、情報を共有することを心掛け、次年度の講義や実習の編成に反映させるよう活用している。会議では、進化する車への対応として、学科実習問わず、ハイブリッド車に関する授業、カリキュラム編成を行うなどの 意見が多く、カリキュラムでは、ハイブリッドに関する実習、講義の時間を順次増やしている

2. 「企業等と連携して、実習、実技、実験又は演習(以下「実習・演習等」という。)の授業を行っていること。」関係

(1)実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針

最近の技術動向を踏まえ、現場で必要な知識・技術を具体的に身に付けさせるため、企業へのヒアリング等を通じて重要項目や課題を抽出し、その結果にもとづいた解決・改善内容を実習や演習内容に反映できるよう企業と連携しながら計画を進める。

また実習・演習等の実施後には企業及び学生からの報告を元に、その効果を検証しながら改善を図る。

(2)実習・演習等における企業等との連携内容

※授業内容や方法、実習・演習等の実施、及び生徒の学修成果の評価における連携内容を明記

連携先企業等の担当者と学校担当者の間で、授業形態やシラバスの確認を行い、また評価項目に関しては、その内容とレベルを協議し確認している。実習・演習等の期間中は、どのような指導を学生が受け、どのように向上したのかを企業等の担当者から適宜、具体的な報告を受けている。また、その実効性について企業側と学校側とで具体的な検討ができるよう体制を敷いている。

(3)具体的な連携の例※科目数については代表的な5科目について記載。

科目名	企業連携の方法	科 目 概 要	連携企業等
社会研究	の講師が全ての授業を主担当	社会人としての一般常識やマナーを学ぶと共に、コミュニケーション能力やパソコンスキルを演習を通じて向上させる。また、自動車に関係する技術について、演習及び実習等を通じて学ぶ。企業との連携授業では、受講態度、理解度を図る口述試験において評価を受ける	高知ダイハツ販売株式会社

3. 「企業等と連携して、教員に対し、専攻分野における実務に関する研修を組織的に行っていること。」関係

(1)推薦学科の教員に対する研修・研究(以下「研修等」という。)の基本方針

※研修等を教員に受講させることについて諸規程に定められていることを明記

学則施行細則の龍馬デザイン・ビューティ専門学校教職員研修規定により、当校が実施する研修は、①新任者研修、②管理職研修、③養成研修に分けて行われており、県内外の各科に関わる業界関係団体や、教育関係団体が主催する研修などに積極的に参加させている。研修等の参加に当たっては、校長又は部門の長が本人のキャリアや適性、意欲等を考慮し、また学校全体の状況等も踏まえ、戦略的に研修を計画している。

/ / 				
(2)研修等 <i>0</i> ①更攻分野/)実績 こおける実務に関する研修等			
<u>∵(√(///////////////////////////////////</u>	整備主任者技術研修		連携企業等:	高知県自動車整備振興会
期間:		令和6年7月23日	対象:	整備主任者
内容	大型EVシステム、オートエアコン	の構造、及び故障診断		
研修名:		0	連携企業等:	0
期間:		0	対象:	0
内容	0			
研修名:		0		0
期間:		0	対象:	
内容	0			
	修得・向上のための研修等			
研修名:	「アクティブリスニング」「デザイン	/思考」	連携企業等:	一般社団法人REIONE
期間:		令和6年12月25日	対象:	龍馬学園教員
内容	信頼関係を構築するコミュニケー	-ション術と未来を予測し言語	部化する方法	
研修名:		0	連携企業等:	0
期間:		0	対象:	0
内容	0			
研修名:		0	連携企業等:	0
期間:		0	対象:	0
内容	0			
(3)研修等 <i>0</i> ①専攻分野()計画 こおける実務に関する研修等			
研修名:	一種養成施設四国連絡協議会	新機構研修	連携企業等:	未定
期間:	令和7年8月(2日間)		対象:	一種養成施設関係者
内容	未定			
研修名:	整備主任者研修		連携企業等:	高知県自動車整備振興会
期間:	令和7年7月(1日間)		対象:	整備主任者
内容	未定			
研修名:		0	連携企業等:	0
期間:		0	対象:	0
内容	0			
②指導力の位	修得・向上のための研修等			
研修名:	学生対応		連携企業等:	人間環境大学
期間:	令和7年12月25日(1日間)		対象:	龍馬学園教員
内容	退学防止と心的障害を持った学	生への対応		

4. 「学校教育法施行規則第189条において準用する同規則第67条に定める評価を行い、その結果を公表していること。 また、評価を行うに当たっては、当該専修学校の関係者として企業等の役員又は職員を参画させていること。」関係

(1)学校関係者評価の基本方針

教育の質の向上につながる学校運営や教育活動の改善に関しては、短期的な計画を立て迅速に対応し、学生支援、教育環境の改善など学生や保護者に対する満足度の向上につながる改善及び社会や地域への貢献に関しては、継続的な取り組みができるよう体制を整える。地域のニーズに対応する学科の改編や新設及び財務の安定化に関しては、中長期的な計画に基づき積極的な姿勢で臨む。次年度からは学科に関係する委員にも参加してもらい意見交換し改善に努める。

(2)「専修学校における学校評価ガイドライン」の項目との対応 ガイドラインの評価項目 学校が設定する評価項目 【抜粋(別紙参照)】1. 学生等に対して教育理念等を明文化し、周知徹底を 図っているか。(学生便覧等) 2. 教職員に対して教育理念等を明文化し、 (1)教育理念・目標 周知徹底を図っているか。(教職員手帳等) 3. 学外の方に対して教育理念 等を明文化し、公表しているか。(HP、パンフレット、募集要項等) 【抜粋(別紙参照)】1. 組織機能図があるか。 2. 学校の年間スケジュール (2)学校運営 はあるか。 3. 分煙・禁煙等に関する規定が文書化・掲示されているか。 【抜粋(別紙参照)】1. 育成人材像に向けた修業年限分のカリキュラムが文 書化されているか。 2. カリキュラム作成のために複数のメンバーによりカリキュラムの作成が行われているか。(カリキュラム作成委員会等) 3. カリ (3)教育活動 キュラム作成メンバーの中に高校生の現状、社会ニーズを反映させるために 複数の内部職員をいれているか。 【抜粋(別紙参照)】1. 学生の就職に関する目標を設定したか。 2. 学生の (4)学修成果 就職に関する目標に対して教職員に共有されているか。 3. 学生の就職活 動に関する記録がなされているか。 【抜粋(別紙参照)】1. 入学予定者に対し学習指導・支援等は行われている (5)学生支援 か。 2. 入学者に対し学習、学生生活のためのオリエンテーションは行われ ているか。 3. 担任による面談が定期的に行われているか。 【抜粋(別紙参照)】1. 図書室・図書コーナー等があるか。 2. 学生が利用で (6)教育環境 きる参考図書、関連図書は備えられているか。 3. 就職支援を行う指定され た場所があるか。 【抜粋(別紙参照)】1. 学校案内等には育成人材像が明示されているか。 (7)学生の受入れ募集 2. 学校案内等には目指す資格・検定・コンペが明示されているか。 3. 学 校案内等には学費・教材費等が明示されているか。 【抜粋(別紙参照)】1. 年度予算、中期計画が策定されているか。 2. 予算 (8)財務 は計画に従って妥当に執行されているか定期的に確認しているか。 3. 会 計監査(内部・外部)体制のルールが明確化されているか。 【抜粋(別紙参照)】1. 定期的に防災訓練を実施しているか。 2. 個人情報 (9)法令等の遵守 保護規程が文書化されているか。 3. ハラスメントに関する規定が文書化さ れているか。 【抜粋(別紙参照)】1. 目標・計画に基づく社会的活動(地域活動、地域貢 献、ボランティア活動等)を実施しているか。 2. 地域社会の行政、商工業、 (10)社会貢献・地域貢献 教育機関、文化団体等へ加盟をしているか。 3. 上記において定期的な会 合に参加しているか。 (11)国際交流 ※(10)及び(11)については任意記載。

(3)学校関係者評価結果の活用状況

自己点検・評価結果をもとに、学校運営に関わる意見を様々な視点から広く聴取し、早期に改善を図るべき事項と中長期に対処すべき事項を区別した上で、当校の教育の質を維持・向上させるために、具体的な学習環境や教育体制の整備計画を立てて、実行していく。

(4)学校関係者評価委員会の全委員の名簿

名 前	所 属	任期	種別
菅井 智恵	保護者	令和5年8月1日~令和7年7月 31日(2年間)	РТА
元吉 太郎	旭二丁目町内会	令和5年8月1日~令和7年7月 31日(2年間)	地域住民
山下 智徳	建築生活空間研究企画室 代表 建築関係	令和5年8月1日~令和7年7月 31日(2年間)	業界関係者
高橋 和之	グラフィスデザイン事務所 代表 グラフィックデザイン関係	令和5年8月1日~令和7年7月 31日(2年間)	卒業生
國澤 裕貴	高知県自動車整備振興会理事	令和5年8月1日~令和7年7月 31日(2年間)	地元企 業関係者
山本 晋爾	株式会社RT 代表取締役社長	令和5年8月1日~令和7年7月 31日(2年間)	地元企 業関係者
		#DEE!	
		#REF!	

※委員の種別の欄には、学校関係者評価委員として選出された理由となる属性を記載すること。

(例)企業等委員、PTA、卒業生等

(5)学校関係者評価結果の公表方法・公表時期

ホームページ · 広報誌等の刊行物 · その他())

URL: https://www.ryoma.ac.jp/disclosure/

公表時期: 令和7年7月

5.「企業等との連携及び協力の推進に資するため、企業等に対し、当該専修学校の教育活動その他の学校運営の状況に関する情報を提供していること。」関係

(1)企業等の学校関係者に対する情報提供の基本方針

企業等と密接かつ組織的連携体制を確保し、より質の高い教育を学生に提供することを目的として、企業等の学校関係者に対して、学校の教育活動、その他学校運営の状況に関する情報を積極的に提供する。

(2)「専門学校における情報提供等への取組に関するガイドライン」の項目との対応

ガイドラインの項目	学校が設定する項目
(1)学校の概要、目標及び計画	学園概要、学校紹介、校訓(校長挨拶)
(2)各学科等の教育	学科紹介・概要(目指す仕事・目標資格・年間スケジュール等)
(3)教職員	教員名簿
(4)キャリア教育・実践的職業教育	キャリア教育、就職指導・就職サポート
(5)様々な教育活動・教育環境	キャンパスライフ、施設・設備
(6)学生の生活支援	龍馬学園奨学金、学園指定・推薦ワンルームマンション
(7)学生納付金・修学支援	入学金・学費、学費サポート(特待生制度・各種奨学金制度)
(8)学校の財務	資金収支計算書、消費収支計算書、貸借対照表
(9)学校評価	自己点検評価結果·学校関係者評価結果
(10)国際連携の状況	
(11)その他	

))

※(10)及び(11)については任意記載。

(3)情報提供方法

(ホームページ・ 広報誌等の刊行物 ・ その他(

URL: https://www.ryoma.ac.jp/disclosure/

公表時期: 令和7年7月

授業科目等の概要

	(工業関係専門課程 自動車整備工学科)															
		分類	Į			授業方法							教員			
		選択必修	由選	授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	講	演習	実験・実習・実技	校内	校外	専任		企業等との連携
1	0			自動車工学	「自動車の構造・性能」「自動車の力学」 「電気及び電子理論」「材料」「燃料及び潤 滑剤」「製図法」を学び、自動車に関連する エ学について総合的理解を深める。	1 2 通	391		0			0		0	0	
2	0			自動車整備	「エンジン」「シャシ」「電気装置」の整備 方法を習得するために必要な知識を学び、さ らには「故障原因探求」について、その方法 を学ぶ。	2 通	200		0			0		0	0	
3	0			機器の構造・ 取扱	自動車整備で使う「整備作業機器」、点検に 使う「測定機器」及び自動車の検査に使う 「検査機器」について、その構造を知るとと もに、適切な取扱方法を学ぶ。	1 通	34		0			0			0	
4	0			自動車検査	自動車検査業務を遂行するのに必要な保安基 準を学ぶ。	2 通	23		0			0		0		
5	0			自動車整備に 関する法規	道路運送車両法の「登録関係」「分解整備事 業」などについて、自動車整備士が日常仕事 を遂行していくうえで必要な法規を学ぶ。	1 通	23		0			0		0		
6	0			工作作業	材料に対して手作業 によって加工を加える 「手仕上げ工作」、機械によって加工を加え る「機械工作」の方法を学び、その技術を習 得する。	1 通	24				0	0			0	
7	0			測定作業	自動車整備に使われる測定機器を使用した測 定を行い、真の値を算出できるようになるこ とを目標とする。	1 通	48				0	0		0		
8	0			自動車整備 作業	「エンジン」「シャシ」「電装」に関する 様々な整備技術を習得するとともに、「故障 原因探求」について、その手法や効率の良い 故障探求技術を習得する。		1212				0	0		0	0	0
9	0			自動車検査作 業	道路運送車両の検査方法を習得するととも に、検査の結果判定を行うための技術を習得 する。	2 通	60				0	0		0		
10	0			社会研究	社会人としての一般常識やマナーを学ぶと共に、コミュニケーション能力やパソコンスキルを演習を通じて向上させる。また、自動車に関係する知識や技術について、演習及び実習等を通じて学ぶ。企業との連携授業では、受講態度、理解度を図る口述試験において評価を受ける。	1 2 通	170		0	Δ	Δ	0	0	0	0	0
			合	計	10	科	目			- 1	2185	ĺ	単位	(単	立時	間)

卒業要件及び履修方法	授業期間等			
卒業要件: 各授業科目に係る出席時数が実授業時間数の10分の9以上かつ各授業科目100	1 学年の学期区分	前/後 期		
履修方法: 必須科目のすべてを講義、実習及び演習を通じ2年間で受講する。	1 学期の授業期間	前期16週 後期24週 週		

(留意事項)

- 1 一の授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち二以上の方法の併用により行う場合 については、主たる方法について○を付し、その他の方法について△を付すこと。
- 2 企業等との連携については、実施要項の3(3)の要件に該当する授業科目について〇を付すこと。